第 15 課　情報社会に生きる

行動目標

情報とは何かやメディアの特性について知り、自分の意見を述べることができる。

チャレンジするタスク＆学習項目

タスク		できること	学習項目
1	**伝えてみよう**	情報を集めるのにメディアをどのように使い分けているか、理由とともに述べることができる。	1　～といった 2　～を通して／～を通じて 情報メディアを表すことば
2	**見つけた！**	記事を読んでソーシャルメディアのマイナス面を知ることができる。	1　～に関して／～に関する 2　～ばかりに 3　～か～ないかのうちに 4　～ことだ 利用してみて気が付いた予想外のことを述べるときの表現
3	**耳でキャッチ**	ラジオ番組を聞いて個人情報について考えるきっかけを得ることができる。	1　～てしかたがない／～てしょうがない 2　～代わりに 3　～としたら／～とすれば／～とすると 4　～かねない マイナスなことが起こる可能性を心配するときによく使われる表現
4	**こんなときどうする？**	自分だけでは判断できないことに対して理由を言って断ることができる。	1　～てからでないと／～てからでなければ 2　～わけにはいかない／～わけにもいかない 自分で判断できないことを伝える表現
知って楽しむ		手書きの壁新聞	

■　学習者への問いかけ例

話してみよう

・情報社会というのはどんな社会のことでしょうか。
（「話してみよう」の吹き出しを見ながら）
・「情報社会」と聞いて、いちばんイメージすることばはどれですか。それはどうしてですか。
・情報社会を「楽しむ」というのは、例えばどういうことだと思いますか。
・情報社会で「つながる」「発信する」というと、どんなものがありますか。
・情報社会で何を「使い分ける」のでしょうか。
・情報社会で何を「疑う」のでしょうか。
・情報社会で何を「守る」必要がありますか。
・皆さんは情報を「うまく利用」できていると思いますか。

1　伝えてみよう

タスクをする前に

▹情報を得る手段としてどんなものがありますか。

チャレンジをした後でサンプルを聞いたり見たりしながら

・この人は、どこから情報を集めていると言っていますか。
・朝は何で情報を得ていますか。
・この人はテレビの情報番組でどんな情報を得ていますか。またそれはどうしてですか。
・自分の興味のあるニュースについて知りたいときは何を使うと言っていますか。
　それはどうしてですか。
・話題の店や新製品の情報をどうやって知ると言っていますか。
・この人は口コミについてどのように考えていますか。
・この人はラジオのどんなところがよいと言っていますか。
・この人はメディアをどのように利用するとよいと考えていますか。

学習項目へ向けて

１．～といった

テレビの情報番組でどんな情報を得ると言っていますか。

２．～を通して／～を通じて

話題の店や新製品の情報は何で知ることもあると言っていますか。

>>>情報メディアを表すことば
　情報メディアにはどのようなものがありますか。

2　見つけた！

タスクをする前に

▹SNS を利用していますか。

▹SNS のいいところはどういうところですか。

▹SNS を利用していて、困ること、問題が起きたことはありませんか。

チャレンジした後で

・「インターネットの普及でコミュニケーションの形が変わった」というのは具体的にはどういうことを言っていると思いますか。

・その結果、どんなことを言う人も出てきましたか。

・SNS についての新しい問題とは、どんなことですか。

・「SNS 疲れ」はどうして起きると言っていますか。

・自分がメッセージを投稿してから、それに対するコメントが届くまでの時間には、どんな場合がありますか。だから、どんな状態になりますか。

・どんなことが精神的な負担、ストレスになるといっていますか。

・SNS を使うことで人間関係はどうなりますか。筆者はそのことをどう思っていますか。

・もし SNS で疲れを感じたら、どうすればいいと言っていますか。

・筆者はなぜ SNS 疲れの解決が簡単だと言っていますか。

学習項目へ向けて

１．～に関して／～に関する

「SNS に関して」はどういう意味だと思いますか。

２．～ばかりに

SNS に次々に投稿してしまうのはどうしてですか。

「～ばかりに」はどんな気持ちが入っていると思いますか。

３．～か～ないかのうちに

自分がメッセージを投稿するとすぐに、コメントが届くことがあると言うとき、どんな表現を使っていますか。

４．～ことだ

SNS 疲れを感じたとき、どうすればいいと筆者はどんな言い方でアドバイスしていますか。

>>>利用してみて気がついた予想外のことを述べるときの表現

利用するまで思いもしなかったことが起こったとき、どんな気持ちになるでしょう。

「思っていたのと違う」ということを表現するのにどんな言い方があるでしょうか。

3　耳でキャッチ

タスクをする前に

▹ラジオを聞くことがありますか。

▹ポイントカードを持っていますか。またよく利用しますか。

チャレンジをした後で

・ラジオ番組の今日の話題は何ですか。
・メールをくれた人（さくら町のユウさん）はコンビニのポスターを見てどんな気持ちになりましたか。
・マキさんがコンビニに電話して聞いたことを話すとき、どんな気持ちで話していますか。
・ポイントカードを作るとき、何を書きますか。
・マキさんはコンビニに電話しただけですか。
・ポイントカードがお店にとって得というのはどうしてだと言っていますか。
・ポイントカードはお客にとって得なだけですか。
・マキさんはどのようなことを考えて、嫌だと言っていますか。
・個人情報に関して注意が必要なのはどうしてですか。
・どうしてこの曲を聞くとＤＪは言っていますか。
・最後にＤＪが「疑問も晴れたかな」と言っていますが、どんな意味だと思いますか。

学習項目へ向けて

１．～てしかたがない／～～てしょうがない

「気になる」と「気になってしかたがない」はどう違いますか。

２．～代わりに

「（私たち客は）ポイントをもらう代わりに、個人情報をお店にあげている」というのはどういう意味ですか。

３．～としたら／～とすれば／～とすると

「漏れたら」と「漏れたとしたら」はどう違いますか。

４．～かねない

「誰かのミスや悪意で、個人情報は漏れかねません」と言っていますが、「個人情報は漏れかねない」とはどういう意味だと思いますか。

>>>マイナスなことが起こる可能性を心配するときによく使われる表現
よくないことが起こることを心配するときには、どんな言い方でその気持ちを表すでしょうか。

4　こんなときどうする？

タスクをする前に

▹街でよく知らない人から声をかけられてインタビューなどをされたことがありますか。
▹よく知らない人に友達の連絡先を教えてほしいと頼まれたとき、どうしますか。

チャレンジした後でサンプルを聞いたり見たりしながら

・学生記者が友達の連絡先を教えてほしいと言ったとき、この人はどうしましたか。
・「本人に確認してからでないと、答えられません」はどういう意味だと思いますか。
・この人はもう一度学生記者に頼まれたときは、どのように言っていますか。
・学生記者はこの後、どのようにして友達を紹介してもらうことにしましたか。

学習項目へ向けて

１．～てからでないと／～てからでなければ

インタビューを受けた人は友達の連絡先を聞かれたとき、何と言って断りましたか。

２．～わけにはいかない／～～わけにもいかない

「教えられない」と「教えるわけにはいかない」ではどう違うでしょう。どんな気持ちが入っていると思いますか。

>>>自分で判断できないことを伝える表現

自分で判断できないことをきちんと伝えるためには、どんな表現を使うといいでしょうか。

■ 留意点

話してみよう

「情報社会」と聞いてまずはどのようなイメージを抱いているか話してもらいましょう。この課では「自分たちが知りたいこと」としてのニュースなどの情報、蓄積される「データ」としての個人情報など、「情報」に関するさまざまな話題を扱っています。伝達手段（メディア）としては、主にマスメディアと SNS です。そして、それぞれ情報の受け手としてだけでなく発信する側でもあることを意識してもらうこともポイントのひとつです。

とびらにあるキーワードを使って質問しながら、学習者の発話を黒板などに書き留めていくと、次第に「情報」という言葉が持つ様々な側面が見えてきて、テーマの具体的なイメージがつかめ、学習内容に対する関心も強まるのではないでしょうか。

チャレンジ！

1

自分にとって必要な情報をどうやって集めているかを理由とともに説明するタスクです。自分自身の様々なメディアとのつきあい方を述べてもらいます。どうしてという理由を述べるときに「速い」とか「詳しい」、「検索できる」などメディアの特性があげられるといいと思います。

2

SNS を利用していて、最近気になることについての記事を読むタスクです。読む前に SNS について、使っているか否か、使っていて気になることはないかなどを話しておくとスムーズに入れると思います。「インターネットの普及でコミュニケーションの形が変わった」というのは具体的にどのようなことか、一緒に考えてみるのもいいでしょう 1 では利点をあげて選択の理由とする場合が多いと思いますが、ここでは、マイナスの表現も多く出てきます。「できる！」で話したり作文を書いたりするときに両方を上手く組み合わせて使えるようになるといいでしょう。

3

ラジオ番組の中からポイントカードの話題を通じて個人情報の保護についての知識を得るタスクです。実際のラジオよりかなりスピードは遅いのですが、学習者にとっては情報量が多く感じられると思います。でも、話し言葉なので、キーワードが上手く拾えれば内容の理解はできるでしょう。ポイントカードという身近なものの中に「個人情報」という大切な問題があることは学習者もよく知っているので、聞いたあとで、国での経験などをクラスメイトと共有するのもいいでしょう。

4

よく知らない人から友人の連絡先を教えてほしいと頼まれ、勝手に教えることはできないことを伝えて断るタスクです。実際によくあることだと思うので、理由を言ってはっきり断る言い方を習得してもらいたいものです。ロールカードを読むときに、個人的な情報は本人の許可なく他人には教えないということについて、学習者と一緒に確認しておくとロールプレイに入りやすいと思います

使ってみよう

1

「２．～を通して／～を通じて」はここでは媒介の用法です。期間を表すものは 6 課 4 で扱っています。

2

「１．～に関して／～に関する」とよく似たものとして「～をめぐって」を 19 課 4 で扱います。「２．～ばかりに」は「そのせいで」の意味です。形が似たもので「～ばかりだ／～一方だ」が 12 課 1、「～ばかりでなく／～ばかりか」が 14 課 1 で出ています。「３．～か～ないかのうちに」の類義表現は 14 課 1 に「～（か）と思うと／～（か）と思ったら」、4 に「～たとたん」を提出しています。「利用してみて気がついた予想外のことを述べるときの表現」では、意外だったこと、思っていたのと反対だったことを表す表現を集めています。

3

「２．～代わりに」は代償の意味で、8 課 1 で代理・代用の「～の代わりに／～に代わって」を扱っています。「４.～かねない」と同様の表現としては 5 課 1 で「～おそれがある」が既出です。
「マイナスのことが起こる可能性を心配するときによく使われる表現」で、さらにいろいろな表現を集めていますので、既習の学習項目と合わせて文を作ってみるといいでしょう。

4

「２.～わけにはいかない／～わけにもいかない」と形の似た表現として 9 課 5 の「～わけではない／～というわけではない」があります。「自分で判断できないことを伝える表現」は、理由をはっきり言って丁寧に断るのに適切な表現をいろいろ組み合わせて使えますので、実際にいくつか文を作ってみるといいでしょう。

やってみよう

1

ここではチャレンジのときとはまた違うメンバーで話してみましょう。さらに意見交換ができて考えが深められるでしょう。

2

ここではSNSに関する別の記事ということで「ステルスマーケティング」を取り上げています。メディアリテラシーの観点で記事を批判的に読むこと、そして、自分自身も発信者として気をつけなければならないのだということを読み取ってほしいと思います。

3

個人情報、ビッグデータに関した話題としてネットショッピングの「おススメ」について話しています。データの集積、そしてその悪用の可能性があるという問題点が聞き取れるといいでしょう。

4

写真の取り扱いなどもとてもデリケートな問題なので、まず、その点を学習者と確認してからタスクを始めるといいでしょう。

知って楽しむ

これは東日本大震災のときに実際にあったことです。本も出版されていますし、ドラマにもなりましたからご存知の方も多いと思います。課を通して情報というもののいろいろな側面を取り上げましたが、最後に情報が「ライフライン」となる特別な場合をあげてみました。知っているか知らないかが大きな分かれ目となる、あるいは情報が希望となる、そのような例を通して、「情報社会」というものについての考えを深めてもらえればと思います。

＜参考文献＞

『６枚の壁新聞　石巻日々新聞・東日本大震災後７日間の記録』石巻日々新聞編　角川SSC新書

できる！

この課では学習者にとっても身近な問題である情報メディア、また情報の選択について自分自身の考えをしっかり述べられるようになってほしいと思います。きちんと対応できないと犯罪に巻き込まれる可能性もあることは国での経験などで多くの人が知っているので、そうした事例や対処方法などを共有することは生きた学習になります。意見交換した後、作文などでまとめてみるのもいいと思います。そろそろ上級への橋渡しの時期ですので、生教材として新聞やテレビのニュース、インターネットのニュースサイトなどを取り上げるのも効果的でしょう。